

自宅療養が急増 注意点は—入室前換気■水分多めに

新型コロナウイルスの感染拡大で、自宅で療養する感染者が急増している。沖縄県では1日時点32人だったのが、12日時点で過去最多の5913人となり、11日間で約185倍に増えた。感染力の強いオミクロン株が広がる中、入院でなく自宅で療養する人は今後も増えるとみられる。

▼30面=振り回される沖縄とともに、また延防止等重複措置が適用された冲縄県でも1日時点10人から11日時点2402人と急増。同様に山口県では、自宅療養者も含む「宿泊療養者

等」の人数は同期間に5人から905人に増えた。東京都でも同期間に85人から2416人と増えている。

◇

自宅療養になつたとき何に気をつけねばいいのか。

自宅療養者への医療支援事業を東京都や大阪府など

18自治体から委託されてい

るファストドクター代表の

菊池亮医師は「ワクチンを

2回接種した人も感染して

いる」と注意を促す。

オミクロン株はデルタ株

と比べても、家庭内感染しやすさと報告されている。

都のハンドブックは、感染

予防として部屋をわける▽感染者の世話を限られた人で▽感染者、同居者は互いにマスクをつける——など

のポイントをあげる。

ただ、狭い住居では、生

活空間をわけるのは難し

い。昨年2月から京都府と

連携して自宅療養するコロ

ナ患者約2500人を住診し

てきた、よしき往診クリニ

ック(京都市西京区)の宮

本雄医師は、家庭内感染

を防ぐためには「高齢者や

寒い季節は、窓を開けて

の換気も簡単でない。食事

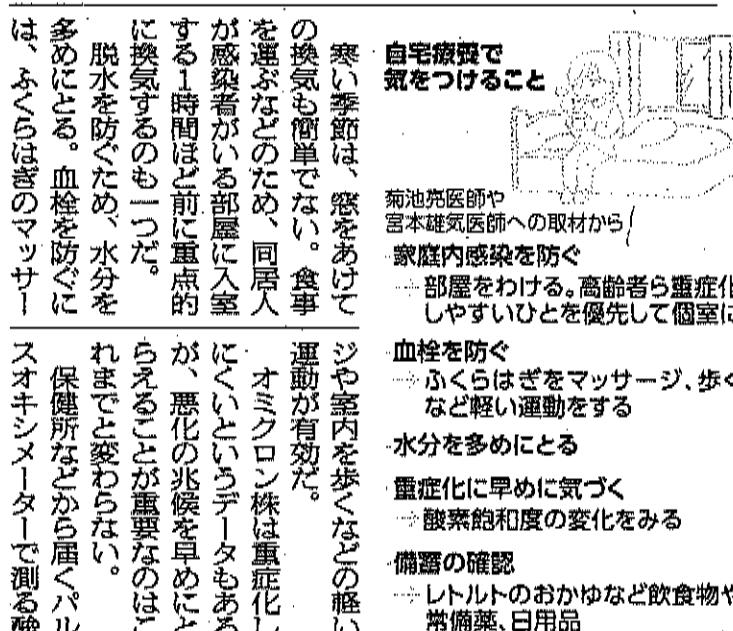
を選ぶなどのため、同居人

が感染者がいる部屋に入室

する1時間ほど前に重症的

脱水を防ぐため、水分を

多くとる。血栓を防ぐに



酸素飽和度が93%以下だと酸

素吸入が必要になる。菊池さんは「9台前半を目標とし、前日から急に下がれば注意が必要」。パルスオキシメーターがなければ、呼吸回数が参考になる。「1分間に20回を超した場合には気をつけて」と話す。宮

本さんは、軽い運動後の酸

素飽和度の変化をみてほしい」という。「パルスオキシ

メーターをつけて40歩ほど

歩いて3、4分以上下がれば肺炎が疑われる」。これ

らの場合、健康観察をする

医師や保健所に伝える」と

が重要だ。

(編集監修・社外記子、野口憲太)